

令和7年度学校評価並びに学校関係者評価を受けて、今後の取り組みについての検討結果を報告いたします。

## （分野）教育活動

### 1. 評価体制の整備に向けた取り組み

授業アンケート及び満足度調査等の評価については、体制を整備して授業改善に取り組んでおりますが、フィードバックに関する課題が明らかとなりました。学校関係者評価においても、教官のフィードバックの方法にばらつきがあることを、ご指摘いただきました。そこで、フィードバックの方法に差異が生じないように、記録・確認を行う仕組みを整備し、継続的な改善に取り組んで参ります。

### 2. 単位修得に向けた指導体制の整備に向けた取り組み

単位修得に向けての指導体制については、通常授業に加えて、補習及び長期休業期間中の支援等、指導体制を整備して取り組み、実技授業においては、複数の教官を配した指導体制を構築するなど、きめ細かい利用者の個別支援に取り組んでおります。しかしながら、利用者の学習状況の把握やその対応について更なる均質化が課題であることから、年間計画で組まれている研修や教える技術の継承に関する話し合い等を通じて教官の指導力向上に努めて参ります。

### 3. 教官の指導力育成など資質向上のための取り組み

自立支援局教官研修会をはじめ、所内教官研修会では実地研修を導入し、教官の資質向上にむけて取り組んでおりますが、初任者及び人材育成のための研修内容の充実が今後の課題です。教える技術の継承に関する話し合いや研修を通じて、人材育成を図って参ります。また、教官自身の実績を積極的に発信する機会として、当センター全体の業務報告会をコロナ禍による書面提出のみの実施から参集形式で開催するなど、自身の実績を積極的に発信する機会を復活いたしました。また、リハセンターで行われる業績報告会への参加を通じて、教育実践の成果発信と職員の資質向上に努めて参ります。

## （分野）教育環境

### 4. 施設整備に向けた取り組み

施設・設備の整備については、空調や電気設備等の基幹となる機械設備において、耐用年数を大幅に超過した状態にあり、故障も頻発する事態が生じております。空調設備の更新を図るための計画を進めると同時に、教育関連機器の新規購入、更新に極力影響が及ばないよう優先順位付や計画購入に努めております。検討を重ねた結果、利用者への学習環境・生活環境への影響を考慮し、宿舍棟を含んだ空調設備等改修を優先事項として、計画的に推進しております。

### 5. 実技実習における事故防止対策に向けた取り組み

感染症予防・事後対策については、各種マニュアルの整備及びインシデント・アクシデント報告の徹底、再発防止のための情報共有、施設賠償責任保険の加入等の対策を講じております。一部を見直した鍼刺し事故対応マニュアルの内容を、教官に周知いたしました。